令和6年度の重点課題

情意面での課題

- 男子
 - ・運動することがややかிரい、きらいと答える児童の割合が11.54%である。
(前年比0.46%↓)
- 女子
 - ・運動することがややかிரい、きらいと答える児童の割合が8.7%である。
(前年比2.72%↓)

体力面での課題

- 男子
 - ・「長座体前屈」「立ち幅跳び」以外の種目において、県平均値かつ全国平均値より低い。
- 女子
 - ・「握力」「上体起こし」「長座体前屈」「立ち幅跳び」以外の種目において、県平均値かつ全国平均値より低い。
- 全体
 - ・「反復横跳び」「20mシャトルラン」「50m走」「ボール投げ」については、共通の課題である。
 - ・1日の活動時間が30分未満の児童が29%である。

上記の課題を受けて具体的に取組んだ事項

- 体づくり運動の運動例など、夏季の校内研修を通して校内に周知し、授業の始めなどに取り入れられるようにした。
- 児童ができる喜びを実感できるよう、運動のコツの具体的な提示を行った。
- 各学年の体育科の授業の工夫などを交流し、自分の学年にも生かせるようにした。
- 体育の宿題を普段から家庭学習として取り組んだ。
- 体育委員会が中心となって、放送で呼びかけ、外遊びの習慣をつけさせた。
- 体育委員会が中心となって、グラウンドを整備したり、ボールに空気を入れたりなど、児童が運動に親しむことができる環境を整備した。
- 体育委員会が中心となって、児童が取り組める運動遊びやイベントを企画した。

令和7年度新体カテストの結果 県平均値(令和6年度)・全国平均値(令和5年度)との比較

男子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点	女子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点
第5学年	15.50	16.09	36.24	36.73	42.06	9.98	150.55	19.22	49.02	第5学年	14.62	14.71	34.47	33.14	34.63	10.14	137.04	11.00	47.63

県平均値かつ全国平均値未満

令和7年度新体カテストの結果 県平均値(令和7年度)・全国平均値(令和6年度)との比較

県の調査結果が公表された後、データ入力シートに最新の県平均値(R7)及び全国平均値(R6)を記入し、比較を行います。

県平均値かつ全国平均値未満

運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか

男子	好き	やや好き	やや嫌い	嫌い	女子	好き	やや好き	やや嫌い	嫌い
第5学年	65.63	23.44	7.81	3.13	第5学年	59.18	28.57	8.16	4.08

学校独自の意識調査

学校独自の意識調査の結果を記入する欄です。

重点課題に対応した改善する取組内容及び方法

体育の授業で行う取組内容

- ACP(アクティブ・チャイルド・プログラム)研修を通して校内に周知し、授業の初めなどに取り入れられるようにする。
- 児童ができる喜びを実感できるよう、主運動のコツの具体的な提示を行う。
- 児童が伸びを実感できるように、記録を数値化し、提示する。
- 児童の伸びを教師が見つけ、肯定的な声かけをする。

体育の授業以外で行う取組内容

- 体育の宿題を普段から家庭学習として取り組ませる。
- 体育委員会が中心となって、ボールの空気入れやグラウンド整備など、児童が運動に親しむことができる環境を整備する。
- 体育委員会が中心となって、運動遊びの紹介や放送で呼びかけることで、外遊びの機会を増やせるようにする。
- 保健体育部の部会で、各学年の取組について交流する。

令和8年度の重点目標値

- 運動やスポーツをすることがややかிரい、きらいと答える児童の割合を、男女ともに10%未満にする。
- 男女共通の課題である、走の運動「50m走」「20mシャトルラン」を県平均値かつ全国平均値以上にする。
- 1日の活動の時間が30分未満の児童を20%未満にする。